

## 「川根茶」ニューヨークでも高い評価

3/3 ~ 3/5

### 食品見本市に出展し川根茶の販路拡大を目指す

川根茶の販路拡大を目指す「市場開発調査・推進事業」の一環で、アメリカ・ニューヨークで開催された「国際レストラン&フードサービスショー」の日本パビリオンに本町が出展しました。

ニューヨークの富裕層かつ本物志向の消費者に試飲してもらう機会をつくることで、川根茶の戦略的な市場開発を目指すという試みで、3日間で約1,200人に呈茶をしました。

川根茶に興味を示してくれた約240社の企業と情報交換をしたほか、試飲した多くの来場者から“ストロング”と高い評価を得ました。



金色透明な川根茶の味に驚く来場者

3/20

## さらなる茶業発展を目指して



川根茶の生産に「情熱」を持って取り組むことを決意表明

### 「第8回茶業者大会」本町健康増進施設で開催

本町茶業振興協議会は茶業者大会を開催し、町内の茶業関係者120人が今年度の茶業振興を祈念するとともに、決意表明を行いました。

会長の佐藤町長は「さらなる茶業振興のため、市場での認知度アップを含めた市場拡大を目指した取り組みに力をいれていきたい」と抱負を述べました。

講演を行った静岡大学農学部森田明雄教授は「良質な川根茶をつくる土壌づくりには、地域の気象条件を考慮した施肥設計が大切」と参加者にアドバイスしました。

## 地域の発展を語り合った未来座談会

3/9

### 地域おこしの担い手3人が講演

かわね四季の会主催の第7回「未来座談会」が茶茗館で開催され、約40人が参加しました。

地域おこしの担い手として活躍する北島享さん(島田市)、清水貢さん(島田市)、中原康夫さん(千頭)がゲストとして招かれ、自身の経験を基に地域活性化のヒントについて講演しました。

続いて参加者がゲストを囲み、地域おこしへのそれぞれの思いを語り合いました。

参加者から「ゲストや他の参加者の発言を聞いて、その頑張りに感動した」という前向きな意見も聞かれ、有意義な座談会となりました。



熱心な講演後には全品入賞茶も振る舞われた

## 「川根 GREEN PARTY」開催

3/16

植林イベントに県内外から120人以上が参加

NPO法人「地球と未来の環境基金」主催の植林イベント「川根 GREEN PARTY」が三ツ星キャンプ場とその周辺にて行われました。

春の陽気に包まれたこの日、県内外から120人を超える植林ボランティアが参加。キャンプ場近くの山林にウメやコナラなどの苗木を1本ずつ丁寧に植えました。

また植林終了後には、キャンプ場にて地元の食材を使用した昼食が振る舞われたほか、農産品の販売やアクセサリ作りの体験が行われ、参加者たちは本町の豊かな自然を満喫しました。



食害対策のため防護ネットも設置しました

3/31

## 「リアル野球盤」で健康増進



ユニフォームを着てはつらつとプレー

本町社会福祉協議会が「地域交流事業」を開催

多様な福祉ニーズに応えるため、本町社会福祉協議会は4月から土日祝日の営業を開始。事業拡大を周知することなどを目的に、町民約100人が参加して地域交流事業を開催しました。

会場では、卓上野球盤のルールを基に考案された「リアル野球盤」が行われました。

参加した鈴木敏恵さん(83歳＝上岸)は「すごく楽しかった。健康を維持するには体を動かすことが大切」と笑顔で話しました。

機能訓練体験や福祉用具の展示、授産製品の展示販売、豚汁のサービスなども行われました。

## 音楽でまちを盛り上げよう

3/23

音戯の郷屋外広場で町おこしコンサートが開催される

音戯の郷屋外広場で、町おこしを目的とした野外コンサート「カワネ・ミュージック・リンク」が開催されました。

出演したのは▷中電バンド(千頭)▷櫻下直也(徳山)▷田中としお(焼津市)▷平千原商会(御前崎市)の4組。ロックやブルースを演奏すると、約100人の観客は手拍子をして盛り上がりました。

主催した「こんばんわ会」事務局の井口晶彦さんは、「音楽でまちを盛り上げていきたい。今後も町民と観光客に音楽を通じて元気を発信していきたい」と意欲を見せました。



好天に恵まれ多くの観光客も足を止め楽しんだ